

(仮称)知北平和公園合葬墓

実施設計図書リスト

実施設計図書(意匠)	
図面番号	名称
A-01	実施設計図書リスト
A-02-a	特記仕様書1
A-02-b	特記仕様書2
A-02-c	特記仕様書3
A-02-d	特記仕様書4
A-02-e	特記仕様書5
A-02-f	特記仕様書6
A-03-a	工事区分表
A-03-b	工事区分図
A-04	設計概要書
A-06-a	面積表1
A-06-b	面積表2
A-07-a	現況図
A-08	仕上表
A-09	屋根伏図
A-10-a	全体配置図
A-10-b	全体平面図
A-10-c	平面図1(個別収蔵施設)
A-10-d	平面図2(個別収蔵施設)
A-10-e	平面図3(参拝所)
A-10-f	平面図4(合同埋蔵施設)
A-11-a	断面図1(個別収蔵施設)
A-11-b	断面図2(個別収蔵施設)
A-11-c	断面図3(参拝所)
A-11-d	断面図4(参拝所)
A-11-e	断面図5(参拝所)
A-11-f	断面図6(合同埋蔵施設)
A-11-g	断面図7(階段)
A-12-a	立面図1(個別収蔵施設)
A-12-b	立面図2(参拝所)
A-13-a	雑詳細図1
A-14-a	天井伏図1(個別収蔵施設)
A-14-b	天井伏図2(参拝所)
A-15-a	展開図1(個別収蔵施設)
A-15-b	展開図2(個別収蔵施設)
A-15-c	展開図3(参拝所)
A-15-d	展開図4(合同埋蔵施設)
A-15-e	展開図5(合同埋蔵施設)

実施設計図書(意匠)	
図面番号	名称
A-16-a	建具キープラン
A-17-a	建具表
A-18-a	建具詳細図1
A-18-b	建具詳細図2
A-18-c	建具詳細図3
A-18-d	建具詳細図4
A-18-e	建具詳細図5
A-18-f	建具詳細図6
A-18-g	建具詳細図7
A-18-h	建具詳細図8
A-19-a	家具キープラン
A-20-a	家具図1
A-20-b	家具図2
A-20-c	家具図3
A-20-d	家具図4
A-20-e	家具図5
A-20-f	家具図6
A-20-g	家具図7
A-21-a	サインキープラン
A-22-a	サイン詳細図
A-23-a	雨水系統図
A-24-a	仮設計画図(参考図)
A-24-b	仮設計画図(参考図)

実施設計図書(構造)	
図面番号	名称
S-01	構造特記仕様書
S-02	鉄筋コンクリート工事標準図(1)
S-03	鉄筋コンクリート工事標準図(2)
S-04	鉄骨工事標準図(1)
S-05	鉄骨工事標準図(2)
S-06	鉄骨工事標準図(3)
S-07	木造工事標準図(1)
S-08	木造工事標準図(2)
S-09	木造工事標準図(3)
S-10	木造工事標準図(4)
S-01-a	個別納骨室 1階伏図(1)
S-02-a	個別納骨室 1階伏図(2)
S-03-a	個別納骨室 屋根伏図
S-04-a	個別納骨室 X8通り軸組図/Y2通り軸組図
S-01-b	屋内参拝所 1階伏図(1)
S-02-b	屋内参拝所 1階伏図(2)
S-03-b	屋内参拝所 屋根伏図
S-04-b	屋内参拝所 X5通り軸組図/Y2通り軸組図
S-01-c	合同埋蔵施設 1階伏図
S-02-c	合同埋蔵施設 屋根伏図
S-03-c	合同埋蔵施設 X3通り軸組図
S-01-r	部材リスト、詳細図(1)
S-02-r	部材リスト、詳細図(2)
S-03-r	部材リスト、詳細図(3)
S-04-r	架構詳細図

実施設計図書(造園)	
図面番号	名称
L-01	割付レベル計画図
L-02	雨水排水計画
L-03	舗装施設計画
L-04	植栽計画図
L-05	植栽詳細図
L-06	各種詳細図1
L-07	各種詳細図2
L-08	撤去図
L-09	撤去詳細図1
L-10	撤去詳細図2

(仮称)知北平和公園合葬墓		工事設計図 平成 年 月 (全 枚)													
特記仕様書															
I 工事概要															
1. 工事場所	(地名地番) 愛知県大府市桜木町5丁目地内														
2. 敷地面積	119,435.25m ² (公園全体敷地面積)														
3. 工事項目	建築工事 外構工事 電気設備工事 機械設備工事														
II 建築工事仕様書															
1. 標準仕様															
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制度の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）[平成26年3月改定]」以下、「標準仕様書」「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）[平成26年3月改定]」以下、「改修標準仕様書」という。及び「建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）」以下、「解体共通仕様書」という。による。															
2. 特記仕様															
1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2)特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のついた場合は、※印のついたものを適用する。 3)特記事項に記載の（）、< >及び〔 〕の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」、及び「解体共通仕様書」の該当項目、当該図又は当該表を示す。															
3. 施工手順等															
① 一般事項	・工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ・請負業者は、監督職員と隨時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ・施工体系図を現場に掲示すること。 ・工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示														
② 適用基準等	・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成22年版） ・工事写真の撮り方（改訂第2版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成25年版）														
3. 構成工期	工事工期より 日前 (1.2.1)														
4. 工事実績情報 (CORINS) の登録	※ 適用する（請負金額が500万円以上の場合） (1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約終結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・適用しない														
5. 発生材の処理等	発生材の処理 (1.3.8) ・引渡しを要するもの () ・特別管理産業廃棄物 () 受入れ施設名・現住所 (km)														
6. 工事範囲	※「工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。														
7. 仮設工事	工事範囲すべて														
8. 土工事															
9. 地業工事															
10. 鉄筋工事															
11. コンクリート工事															
12. 鉄骨工事															
13. コンクリートブロック・ALC/パネル・押出成形セメント板工事															
14. 防水工事															
15. 石工事															
16. 電気保安技術者															
17. タイル工事															
18. 木工事															
19. 屋根及び工事															
20. 金属工事															
21. 左官工事															
22. 建具工事															
23. カーテンウォール工事															
24. 塗装工事															
25. 内装工事															
26. ユニット及びその他の工事															
9. 室内の空気中の化学物質濃度の計測															
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9) 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド (濃度指針値 100μg/m ³ 0.08ppm) ※ スチレン (濃度指針値 220μg/m ³ 0.05ppm) ※ トルエン (濃度指針値 260μg/m ³ 0.07ppm) ※ エチルベンゼン (濃度指針値 3,800μg/m ³ 0.88ppm) ※ キシレン (濃度指針値 870μg/m ³ 0.20ppm) 測定する室等： () 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。															
10. 特別な材料の工法															
※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。															
11. 建築基準法による風圧力等の指定															
(8.4.3) (8.5.3) (13.2.3) (13.3.3) (13.4.3) (14.7.3) (16.11～13.2) (16.14.5)															
12. 設計G.L.															
13. 技能士															
※ 図示 現状平均地盤 ・下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 (1.5.2) ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ・下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。															
工事項目 技能検定職種（技能検定作業） 以下の該当工事 該当する作業がある以下の職種（作業）の全て															
仮設工事 とび（とび作業） 鉄筋工事 鉄筋施工（鉄筋組立作業） コンクリート工事 型枠施工（型枠工事作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） 鉄骨工事 とび（とび作業） ・鉄工（構造物鉄工作業） コンクリートブロック・ALC/パネル ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・押出成形セメント板工事 ALC/パネル施工（ALC/パネル工事作業） 防水工事 防水施工（アスファルト防水工事作業） ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業															
14. 技能機器															
4. 握重機機器 ・トラッククレーン (t 吊り) × 日 ・(t 吊り) × 日															
5. 監督職員事務所															
※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ※ 設ける（規模 m ² 程度 請負者事務所と同棲 可 否） 備品 ()															
6. 工事表示板															
7. 事業コスト表示板															
8. 工事用水															
構内既存の施設 ① 利用できる (有償 無償) ※ 利用できない															
9. 工事用電力															
構内既存の施設 利用できる (有償 無償) ※ 利用できない															
10. 工事用通路															
※ 指定しない 指定する（図示）															
11. 足場等															
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省 平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。															
12. その他の仮設															
① 埋戻し及び盛土の種別															
種別 A種 ※ B種 C種 D種 (3.2.3) (表3.2.1) C種の場合 建設発生土受入数量 m ³ 発生場所															
② 建設発生土の処理															
・構外に搬出し適切に処理する。 ・構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地 (km) ・構内指示の場所に敷きならす。 ・構内指示の場所に適切に処理する。															
③ ③ 建設発生土の処理															
株式会社 キノアーキテクツ 一級建築士事務所 東京都知事登録第55337号															
A-02-a															

3. 山留め	・ 設置する。 · 設置しない。	(3.3.1)	⑥ 杭の種類 ・ 鋼杭地業	杭の種類 ・ 既製コンクリート杭 ・ 鋼杭地業	・ 存蓄する。 · 存蓄しない。	(3.3.3)
1. 既製コンクリート杭 ・ 鋼杭地業	杭の種類 ・ プレストレストコンクリート杭 (JIS表示承認製品) ・ A種 · B種 · C種	(4.3.2) (4.4.2)				
		(4.3.2)				
	記号	杭径 (mm)	長さ (mm) 及び種別	設計支持力	セット数	備 考
試験杭						
本 杭						
継 手	※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手	(4.3.6) (4.4.5)				
先端部形状	閉塞平坦型 · 解放型	(4.3.2) (4.4.2) (表4.4.1)				
杭の施工法	・ 堀削打撃併用工法 ・ プレボーリングの掘削深さ 杭先端予定レベルの上方 mのレベルまで オーガー径 杭径-50mm程度	(4.3.3) (4.4.3)				
	・ セメントミルク工法 ・ 特定埋込杭工法 ・ (旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)	(4.3.4) (4.4.3)				
	・ 断熱材兼用型枠	(4.3.5) (4.4.4)				
	MCR工法用シート	※ 適用しない				
	・ ひび割れ誘発目地 目地寸法	※ 図示				
	位置	※ 図示				
2. 場所打ちコンクリート杭地業	ハンマーの種別 ・ バイルドライバー	※ 油圧パイルハンマー · ドロップハンマー ※ 三点支持式クローラークレーン				
	騒音・振動の測定	・ 行う	※ 行わない			
	コンクリートの種類 掘削工法	・ A種 · B種 (4.5.3) (表4.5.1) ・ アスドリル工法	※ 安定液使用	(4.5.4)		
	・ リバース工法 ・ オールケーシング工法					
	孔内の水張り	※ 行う	・ 行わない			
3. 地盤改良	工法 (·)					
④ 床下防湿層	※ 設ける	地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。	(4.6.5)			
⑤ 土間スラブ (土間コ)	・ 設けない	A種ボリスチレンフォーム3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図 (図7-01-1) による。				
下断熱材	・ 設けない					
⑥ 砂利地業	※ 再生クラッシャーラン	(·)	(4.6.2~3)			
⑤ ① 鉄筋の種別	規 格 名 称	種 類 の 記 号	径 (mm)			
	鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下			
		※ SD345	※ D16以上			
2. 溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品	(5.2.2)				
	線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100					
	使用箇所 (·)					
③ 鉄筋の継手						
④ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	接 合 方 法	径 (mm)	施 工 簿 所			
	※ 重ね継手	D16以下				
	※ ガス圧接	D19以上	はり 柱の主筋			
⑤ 各部配筋	各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書	(5.3.7)				
	末尾資料の「各部配筋 参考図」による。					
⑥ 柱の帶筋	※ H形 · W-I形 · SP形	(参考図 図2.2)				
⑦ 耐震壁を除く壁の開口部補強	・ A形	※ B形	(参考図 表4.3~4.4)			
⑧ はり貫通孔の補強	※ H3形以上	· M型 · MH型	(参考図 表7.1~7.3)			
⑨ 圧接完了後の抜取試験	試験方法	※ 超音波深傷試験	・ 引張り試験	(5.4.9)		
3. 山留め	・ 設置する。 · 設置しない。	(3.3.1)	⑥ 杭の種類 ・ 鋼杭地業	杭の種類 ・ 既製コンクリート杭 ・ 鋼杭地業	・ 存蓄する。 · 存蓄しない。	(3.3.3)
	記号	杭径 (mm)	長さ (mm) 及び種別	設計支持力	セット数	備 考
試験杭						
本 杭						
継 手	※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手	(4.3.6) (4.4.5)				
先端部形状	閉塞平坦型 · 解放型	(4.3.2) (4.4.2) (表4.4.1)				
杭の施工法	・ 堀削打撃併用工法 ・ プレボーリングの掘削深さ 杭先端予定レベルの上方 mのレベルまで オーガー径 杭径-50mm程度	(4.3.3) (4.4.3)				
	・ セメントミルク工法 ・ 特定埋込杭工法 ・ (旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)	(4.3.4) (4.4.3)				
	・ 断熱材兼用型枠	(4.3.5) (4.4.4)				
	MCR工法用シート	※ 適用しない				
	・ ひび割れ誘発目地 目地寸法	※ 図示				
	位置	※ 図示				
2. 場所打ちコンクリート杭地業	ハンマーの種別 ・ バイルドライバー	※ 油圧パイルハンマー · ドロップハンマー ※ 三点支持式クローラークレーン				
	騒音・振動の測定	・ 行う	※ 行わない			
	コンクリートの種類 掘削工法	・ A種 · B種 (4.5.3) (表4.5.1) ・ アスドリル工法	※ 安定液使用	(4.5.4)		
	・ リバース工法 ・ オールケーシング工法					
	孔内の水張り	※ 行う	・ 行わない			
3. 地盤改良	工法 (·)					
④ 床下防湿層	※ 設ける	地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。	(4.6.5)			
⑤ 土間スラブ (土間コ)	・ 設けない	A種ボリスチレンフォーム3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図 (図7-01-1) による。				
下断熱材	・ 設けない					
⑥ 砂利地業	※ 再生クラッシャーラン	(·)	(4.6.2~3)			
⑤ ① 鉄筋の種別	規 格 名 称	種 類 の 記 号	径 (mm)			
	鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下			
		※ SD345	※ D16以上			
2. 溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品	(5.2.2)				
	線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100					
	使用箇所 (·)					
③ 鉄筋の継手						
④ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	接 合 方 法	径 (mm)	施 工 簿 所			
	※ 重ね継手	D16以下				
	※ ガス圧接	D19以上	はり 柱の主筋			
⑤ 各部配筋	各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書	(5.3.7)				
	末尾資料の「各部配筋 参考図」による。					
⑥ 柱の帶筋	※ H形 · W-I形 · SP形	(参考図 図2.2)				
⑦ 耐震壁を除く壁の開口部補強	・ A形	※ B形	(参考図 表4.3~4.4)			
⑧ はり貫通孔の補強	※ H3形以上	· M型 · MH型	(参考図 表7.1~7.3)			
⑨ 圧接完了後の抜取試験	試験方法	※ 超音波深傷試験	・ 引張り試験	(5.4.9)		
3. 山留め	・ 設置する。 · 設置しない。	(3.3.1)	⑥ 杭の種類 ・ 鋼杭地業	杭の種類 ・ 既製コンクリート杭 ・ 鋼杭地業	・ 存蓄する。 · 存蓄しない。	(3.3.3)
	記号	杭径 (mm)	長さ (mm) 及び種別	設計支持力	セット数	備 考
試験杭						
本 杭						
継 手	※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手	(4.3.6) (4.4.5)				
先端部形状	閉塞平坦型 · 解放型	(4.3.2) (4.4.2) (表4.4.1)				
杭の施工法	・ 堀削打撃併用工法 ・ プレボーリングの掘削深さ 杭先端予定レベルの上方 mのレベルまで オーガー径 杭径-50mm程度	(4.3.3) (4.4.3)				
	・ セメントミルク工法 ・ 特定埋込杭工法 ・ (旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)	(4.3.4) (4.4.3)				
	・ 断熱材兼用型枠	(4.3.5) (4.4.4)				
	MCR工法用シート	※ 適用しない				
	・ ひび割れ誘発目地 目地寸法	※ 図示				
	位置	※ 図示				
2. 場所打ちコンクリート杭地業	ハンマーの種別 ・ バイルドライバー	※ 油圧パイルハンマー · ドロップハンマー ※ 三点支持式クローラークレーン				
	騒音・振動の測定	・ 行う	※ 行わない			
	コンクリートの種類 掘削工法	・ A種 · B種 (4.5.3) (表4.5.1) ・ アスドリル工法	※ 安定液使用	(4.5.4)		
	・ リバース工法 ・ オールケーシング工法					
	孔内の水張り	※ 行う	・ 行わない			
3. 地盤改良	工法 (·)					
④ 床下防湿層	※ 設ける	地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。	(4.6.5)			
⑤ 土間スラブ (土間コ)	・ 設けない	A種ボリスチレンフォーム3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図 (図7-01-1) による。				
下断熱材	・ 設けない					
⑥ 砂利地業	※ 再生クラッシャーラン	(·)	(4.6.2~3)			
⑤ ① 鉄筋の種別	規 格 名 称	種 類 の 記 号	径 (mm)			
	鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下			
		※ SD345	※ D16以上			
2. 溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品	(5.2.2)				
	線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100					
	使用箇所 (·)					
③ 鉄筋の継手						
④ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	接 合 方 法	径 (mm)	施 工 簿 所			
	※ 重ね継手	D16以下				
	※ ガス圧接	D19以上	はり 柱の主筋			
⑤ 各部配筋	各部の配筋は、図					

① 木材 外観	① 木材	表面仕上げの程度 含水率 下地材 造作材 造作材面の品質 代用樹種を使用しない箇所 ※ なし 造作用集成材12.2.1 (c) による	A種 ※ B種 C種 D種 (12.1.4) (表12.1.1) A種 B種 (12.2.1) (表12.2.1) A種 B種 (12.2.1) (表12.2.2) A種 B種 (12.2.1) (表12.2.3) あり () (12.2.1)	14. ① あと施工アンカー ② ステンレス表面処理 3. アルミニウム及び アルミニウム合金の 表面処理 ④ 鉄鋼の亜鉛めっき	引抜き耐力の確認試験 ※ HL NO.2B 種類 施工箇所 色合 (14.2.2) (表14.2.1) (14.2.3) (表14.2.2)	15. ① 一般事項 ② 防火戸の指定 ③ 防火戸との連動 ④ 見本の作成等 ⑤ 軽量鉄骨 ⑥ 軽量鉄骨壁下地 ⑦ 金属成形板張り ⑧ アルミニウム製笠木 ⑨ 手すり及びタラップ ⑩ 体育館の 鋼製床下地 ⑪ モルタル塗り ⑫ セルフレベリング材 ⑬ 仕上げ塗材 ⑭ ロックワール吹付け (耐火被覆は 7章による)	行う 行わない (14.1.3) 行う (14.2.1) 種類 施工箇所 色合 (14.2.2) (表14.2.1) 種類 施工箇所 (14.2.3) (表14.2.2)	16. ① 一般事項 ② アルミニウム製建具 ③ 鋼製軽量建具 ④ 木製建具 ⑤ 建具用金物 ⑥ 納戸 ⑦ 樹脂製建具 ⑧ 鋼製建具 ⑨ 重量シャッター ⑩ 自動ドア開閉装置 ⑪ 重量シャッター ⑫ 鋼製軽量建具 ⑬ 木製建具 ⑭ 建具用金物	防火戸の指定 ・適用する(適用範囲は図示及び建具表による) ※ 建築基準法第2条第九号の二の規定に定められたもの 又は認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。) ※ 適用しない 防火戸との連動 ・適用する(適用箇所は建具表及び図示による) ・自動閉鎖機構 ヒューズ装置 熱感知器 煙感知器 ※ 適用しない 見本の作成等 製作 行わない 行う(建具表による) 仮組 行わない 行う(建具表による) 防犯建物部品 使用しない 使用する(建具表による) (16.1.6) 外部に面する建具性能等級等 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表14.2.1) 種別 耐風圧性 気密性 水密性 柵の見込み寸法(mm) A種 S-4 A-3 W-4 70(引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する場合で性能が確保できない場合は、100) B種 S-5 C種 S-6 A-4 W-5 100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 B-2種 内部建具 ※ C-1種 C-2種 B-2種、C-2種の場合 ・プロンズカラー(※ 標準色 濃色) ・ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(適用箇所は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・T-1 T-2 T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(適用箇所は図示による) ※ 適用しない ・H-2 H-3 適用する場合の断熱性の等級 耐震ドアセット、耐震サッシ ・適用する(適用箇所は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の面内変形 ・D-1 D-2 追隨性の等級 使用方法による区分 ・外面部の可動式 ・内部納まりの開き式 ・防虫網(縫隙0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ガラス織維入り合成樹脂 ・ステンレス(SUS 316) ※ 合成樹脂 ・防鳥網 ※ ステンレス(SUS304) 縫隙1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 (16.3.2) (表16.3.1) 種別 耐風圧性 気密性 水密性 柵の見込み寸法(mm) A種 S-4 A-4 W-4 B種 S-5 C種 S-6 ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(適用範囲は図示による) (表16.3.2) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・T-A種 T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(適用範囲は図示による) (表16.3.3) ※ 適用しない ・H-A種 H-B種 適用する場合の断熱性の等級 表面色 ・標準色(白) (表16.3.4) ・特注色(黒・ブラウン・シルバー) 簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2) ※ 使用する(適用箇所は図示とする) ・気密性 行わない ・水密性 行わない ・使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 行わない ・S-4 S-5 S-6 鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3312) 建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ 区分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2) に同じ 出入口 枠類 一般部分 2.3 戸 戸 中骨 2.3 上記以外 (表16.4.2) に同じ 標準型鋼製建具 ・使用する ・使用しない (16.4.6)	簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用箇所は図示による) ・気密性 行わない ・水密性 行わない 戸の鋼板 ・表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラーコート 標準型鋼製軽量建具 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ・使用する ・アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用箇所は図示する) ・気密性 行わない ・水密性 行わない ・使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 行わない ・S-4 S-5 S-6 表面処理 ・HL 鋼板の曲げ加工 ・普通曲げ かど出し曲げ 建具材の加工、組立時の含水率 ・A種 B種 C種 かまちは杉下小節程度 棒、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新島の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま 工法(在来型 チップ型) (16.8.2) (表16.8.1) 金物の種類 型式 製造所 シリンダーホース 本締付きモノロック モノロック シリンダーホース ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ピボットヒンジ レバーハンドル レバーハンドル L=130程度 錠前類と同一製造所 戸あたり あおり止め付き 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダーホースは 公共工事標準型とする。 握り玉、レバーハンドル、押板類、クリセント取付位置は、建具表による。 マスターの作成 ○ 要 不要 (表16.8.4) ・不要(既存マスターで施設可能とする。) 性能 ・スライディングドア ・スイングドア (16.9.2) (表16.9.1~2) センサーの種類 ・光線(反射)スイッチ (16.9.3) (表16.9.3) ・マットスイッチ式 ・タッチスイッチ ※ センサーの種類によらず補助センサー併用とする 凍結防止装置 ・要 不要 全半開装置 ※ 設ける(半開幅=) ・設けない (16.11.2) (表16.11.1) 種類 シャッターケース 耐風圧強度 開閉方式 保護装置 一般シャッター ・設ける 建具表及び ・設けない ・上部電動式 ・(手動併用) ・上部手動式 ・設けない ・上部電動式 ・(手動併用) ・設ける ・上部電動式 ・(手動併用) ・設ける スラット及びシャッターケース用鋼板 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) (16.11.3)
	② 造作用集成材	見付け材面 等級 単材の樹種 単材の厚さ (mm) 床下貼り用合板 ※ JASの構成用合板 特類 2等以上 C-D以上 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 K2 K3 K4 薬剤の加圧注入処理を行ったち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、 現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1	JASによる集成材 1等 2等 JAS集成材1等同等 10~15 10~15 12.2.1 12.3.1 12.3.2 K1 (13.2.2) (表13.2.1)	16. ① 一般事項 ② アルミニウム製建具 ③ 鋼製軽量建具 ④ 木製建具 ⑤ 建具用金物	防火戸の指定 ・適用する(適用範囲は図示及び建具表による) ※ 建築基準法第2条第九号の二の規定に定められたもの 又は認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。) ※ 適用しない 防火戸との連動 ・適用する(適用箇所は建具表及び図示による) ・自動閉鎖機構 ヒューズ装置 熱感知器 煙感知器 ※ 適用しない 見本の作成等 製作 行わない 行う(建具表による) 仮組 行わない 行う(建具表による) 防犯建物部品 使用しない 使用する(建具表による) (16.1.6) 外部に面する建具性能等級等 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表14.2.1) 種別 耐風圧性 気密性 水密性 柵の見込み寸法(mm) A種 S-4 A-3 W-4 70(引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する場合で性能が確保できない場合は、100) B種 S-5 C種 S-6 A-4 W-5 100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 B-2種 内部建具 ※ C-1種 C-2種 B-2種、C-2種の場合 ・プロンズカラー(※ 標準色 濃色) ・ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(適用箇所は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・T-1 T-2 T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(適用箇所は図示による) ※ 適用しない ・H-2 H-3 適用する場合の断熱性の等級 耐震ドアセット、耐震サッシ ・適用する(適用箇所は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の面内変形 ・D-1 D-2 追隨性の等級 使用方法による区分 ・外面部の可動式 ・内部納まりの開き式 ・防虫網(縫隙0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ガラス織維入り合成樹脂 ・ステンレス(SUS 316) ※ 合成樹脂 ・防鳥網 ※ ステンレス(SUS304) 縫隙1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 (16.3.2) (表16.3.1) 種別 耐風圧性 気密性 水密性 柵の見込み寸法(mm) A種 S-4 A-4 W-4 B種 S-5 C種 S-6 ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(適用範囲は図示による) (表16.3.2) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・T-A種 T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(適用範囲は図示による) (表16.3.3) ※ 適用しない ・H-A種 H-B種 適用する場合の断熱性の等級 表面色 ・標準色(白) (表16.3.4) ・特注色(黒・ブラウン・シルバー) 簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2) ※ 使用する(適用箇所は図示とする)<					

23 總揮発性有機化合物 (TVOC) 測定仕様書	1. 一般事項	試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。																																																								
	2. 測定対象 化学物質	測定対象化学物質は、下記4-1)、2)の区分に従い、表の①から⑯の14物質及びTVOC又は表の①から⑯の9物質及びTVOCとする。																																																								
	3. 測定方法	1) クロマトグラム上で「n - ヘキサン」から「n - ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で 2.0μg/m ³ 未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。																																																								
	表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>化 学 物 質 名</th> <th colspan="2">室 内 濃 度 指 針 値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m³</td> <td>0.08 ppm</td> </tr> <tr> <td>② トルエン</td> <td>260 μg/m³</td> <td>0.07 ppm</td> </tr> <tr> <td>③ キシレン</td> <td>870 μg/m³</td> <td>0.20 ppm</td> </tr> <tr> <td>④ エチルベンゼン</td> <td>3,800 μg/m³</td> <td>0.88 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑤ スチレン</td> <td>220 μg/m³</td> <td>0.05 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑥ バラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m³</td> <td>0.04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑦ テトラテカン</td> <td>330 μg/m³</td> <td>0.04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑧ アセトアルデヒド</td> <td>48 μg/m³</td> <td>0.03 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑨ ノナール</td> <td>(暫定) 41 μg/m³</td> <td>0.007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑩ フタル酸ジ - n - ブチル</td> <td>220 μg/m³</td> <td>0.02 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑪ フタル酸ジ - 2 - エチルヘキシル</td> <td>120 μg/m³</td> <td>0.0076 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑫ クロルビロホス</td> <td>1 μg/m³</td> <td>0.00007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑬ ダイアジノン</td> <td>0.29 μg/m³</td> <td>0.00002 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑭ フェノブカルブ</td> <td>33 μg/m³</td> <td>0.0038 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑯ 総揮発性有機化合物 (TVOC)</td> <td>400 μg/m³</td> <td>(暫定目標値)</td> </tr> </tbody> </table>											化 学 物 質 名	室 内 濃 度 指 針 値		① ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	0.08 ppm	② トルエン	260 μg/m ³	0.07 ppm	③ キシレン	870 μg/m ³	0.20 ppm	④ エチルベンゼン	3,800 μg/m ³	0.88 ppm	⑤ スチレン	220 μg/m ³	0.05 ppm	⑥ バラジクロロベンゼン	240 μg/m ³	0.04 ppm	⑦ テトラテカン	330 μg/m ³	0.04 ppm	⑧ アセトアルデヒド	48 μg/m ³	0.03 ppm	⑨ ノナール	(暫定) 41 μg/m ³	0.007 ppm	⑩ フタル酸ジ - n - ブチル	220 μg/m ³	0.02 ppm	⑪ フタル酸ジ - 2 - エチルヘキシル	120 μg/m ³	0.0076 ppm	⑫ クロルビロホス	1 μg/m ³	0.00007 ppm	⑬ ダイアジノン	0.29 μg/m ³	0.00002 ppm	⑭ フェノブカルブ	33 μg/m ³	0.0038 ppm	⑯ 総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m ³
化 学 物 質 名	室 内 濃 度 指 針 値																																																									
① ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	0.08 ppm																																																								
② トルエン	260 μg/m ³	0.07 ppm																																																								
③ キシレン	870 μg/m ³	0.20 ppm																																																								
④ エチルベンゼン	3,800 μg/m ³	0.88 ppm																																																								
⑤ スチレン	220 μg/m ³	0.05 ppm																																																								
⑥ バラジクロロベンゼン	240 μg/m ³	0.04 ppm																																																								
⑦ テトラテカン	330 μg/m ³	0.04 ppm																																																								
⑧ アセトアルデヒド	48 μg/m ³	0.03 ppm																																																								
⑨ ノナール	(暫定) 41 μg/m ³	0.007 ppm																																																								
⑩ フタル酸ジ - n - ブチル	220 μg/m ³	0.02 ppm																																																								
⑪ フタル酸ジ - 2 - エチルヘキシル	120 μg/m ³	0.0076 ppm																																																								
⑫ クロルビロホス	1 μg/m ³	0.00007 ppm																																																								
⑬ ダイアジノン	0.29 μg/m ³	0.00002 ppm																																																								
⑭ フェノブカルブ	33 μg/m ³	0.0038 ppm																																																								
⑯ 総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m ³	(暫定目標値)																																																								
4. 測定する室	1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・ 室名 :																																																									
	2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・ 室名 :																																																									
	・ 屋外 (周囲の建物から離れた場所1か所)																																																									
5. 測定結果等 報告書の提出	次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況 (気温・湿度 (屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し																																																									
6. その他	表の化学物質①から⑯のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。																																																									

工事区分表

- 1) 本工事施工中は、別途工事受注者と連絡を密にし、工事の進捗等に支障なきよう
責任をもってあたること。
- 2) 工事区分表は○印のついたものを適用する（特記ある場合は除く）

共通事項

工事項目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
鉄筋コンクリート造躯体貫通部（設備工事用） の補強工事	○					
同上用スリーブ並びに箱入れの穴埋修補 (仕上げは除く)		○	○	○		
床上機器用コンクリート基礎工事	○					
床上機器用コンクリート仕上	○					
設備配管吊りボルト用インサート類		○	○	○	○	○
吹出口、吸込口、並びに埋込照明器具、埋込 スピーカー、天井埋込換気扇、取付の為の枠 組みと補強	○					
同上穴明工事		○	○	○		
防火区画貫通部のダクト、配管等の防火養生		○	○	○		
鉄骨造（S.R.C.造も含む）鉄骨貫通部閉口 (設備工事用)と補強	○					
機器操作盤への一次側電源供給工事				○		
煙導製作取付、煙突接続（空隙耐火材詰め 含む）（発電機用含む）		○	○	○		
A. L. C板穴名工事（設備工事用）	○					
A. L. C板貫通部の補修（設備工事用）	○					
鉄骨耐火被覆（ロックウール成形板等）の穴明 (設備工事用)	○					
盤類器具類（衛生器具）取付の枠組と補強 (木造、プレハブ、S.R.C.等)	○					

建築工事関係

工事項目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
パイプシャフト、及び天井の点検口製作取付	○					
建物内の排水溝並びに配管配線用ビット及び、 各水槽の蓋製作取付	○					
建物外壁に取付く、ガラリ（吸気・排気）の 製作取付（防虫網取替可能型）（ダクト接続 型）	○					
ドア並びに間仕切壁のガラリ、製作取付	○					
壁付換気扇の取付用穴明	○					
壁付換気扇の取付及びガラリ、フードの取付	○					
コンクリート造のチャンバ及びダクト (消音、保温共)	○					
ルーフドレン及び縦縫（G.L. - 200迄）	○					
縦縫以降配管（継ぎを含む）		○				
建物廻り雨水側溝の接続（側溝と側溝）工事	○					
建物廻り側溝以降の雨水排水設備		○				
厨戸内排水溝						
サービスタンク、油ポンプ廻り防油堤築造	○					
二重スラブ内連通管及び通気管（湧水槽等）	○					
煙突工事（内部ライニング含む、コンクリー ト軸体）	○					
煙突内部排水配管（目皿含む）		○				
汲取便槽	○					
同上煙突	○					
身障者用便所の手すり	○					
照明付化粧鏡への電源接続工事			○			
空調機の間接排水配管工事 (トラップは機器工事)		○				
屋上集熱器設備工事		○				

電気工事

工事項目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
はり、床、壁の貫通スリーブ				○		
同上に伴なう補強	○					
天井埋込器具取付箇所のボード切込				○		
同上に伴なう下地補強	○					
壁埋込器具盤の板枠又はボード切込				○		
同上に伴なう補強	○					
自立盤、トランス、発電機等のコンクリート 基礎	○					
同上コンクリート基礎仕上	○					
発電機減圧水槽及び冷却水槽への給水管			○			
別途工事盤類の取付	○	○	○	○	○	○
同上に伴なう二次側配管、配線	○	○	○		○	○

工事項目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
別途工事機器への接続（直接接続に限る）				○		
回転方向等の確認						
照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート				○		
身障者用便所使用灯、鍵連動装置取付				○		
同上に伴なう一・二次側配管、配線				○		
テレビアンテナマスト、避雷針等のコンク リート基礎	○					
同上コンクリート基礎仕上	○					
配管類の防火区画貫通部の補修				○		
防火扉用レリーズの取付				○		
防火シャッター、防火垂壁用レリーズの取付	○					
防火ダンパー用レリーズの取付		○				
上記3項目に伴なう配管、配線				○		
防火シャッター警報ブザー用リミットスイッ チ取付	○					
ファンコイルユニット用操作スイッチ取付 及び配管、配線			○			
配線ビット	○					
同上用蓋	○					
電動暗幕装置	○					
同上電源接続及び操作スイッチ取付			○			

衛生工事関係

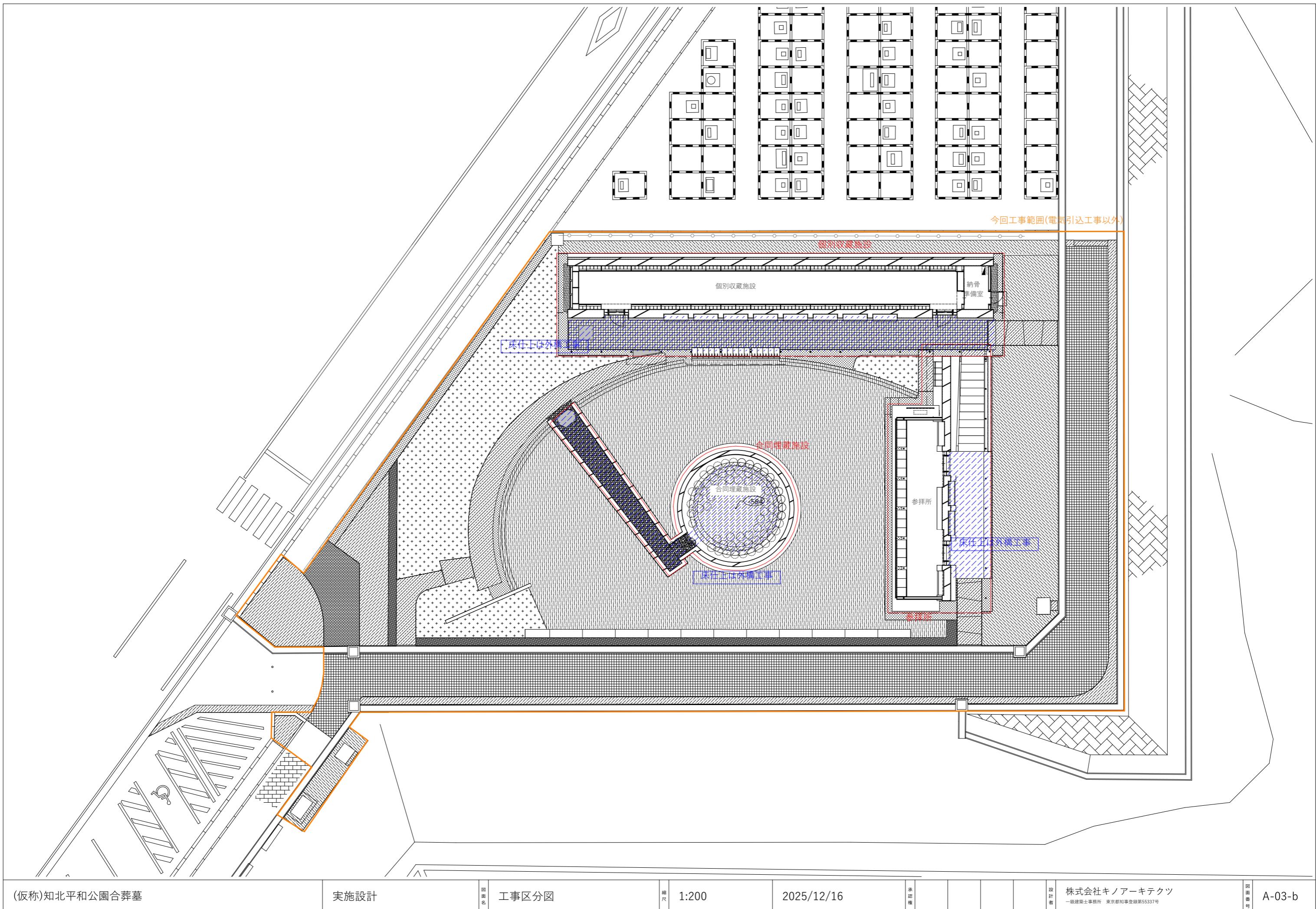
工事項目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
大便器用箱入れ	○					
同上用補強工事	○					
大便器用箱入れ位置（墨出し）			○			
消火栓ボックス用箱入れ（補修は除く）			○			
同上用補強工事	○					
高架水槽用架台			○			
高架水槽用基礎（仕上共）	○					
ステンレス製流し台 (V.P管接続用トラップ含む)	○					
同上流し排水管接続			○			
造り付け各種流し台 (人研・コンクリート等)	○					
同上流し排水トラップ取付			○			
洗濯機用パン（排水トラップ共）			○			
グリーストラップ（既製品）			○			
浴槽並びに風呂釜	○					
ハロン消化設備 (ガス圧ダンパー制御配管含む)		○				
同上制御盤迄の1次側配線、配管（電源供給）			○			
ハロン消火設備連動のファン等の停止回路			○			
化粧棚及び化粧鏡		○				
消火ポンプ起動回路及び表示灯回路			○			
消火栓ボックスの起動押ボタン及び表示灯			○			
取付並びに配線、配管			○			
消火栓ボックスの取付			○			
非水洗及び簡易水洗の便器	○					
同上用紙巻器（取付具）			○			
簡易水洗便器の止水栓（器具接続迄）			○			

昇降機工事関係

工事項目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
昇降機械室床軽量コンクリート仕上並びに						
スラブ開口及び補強工事	○					
乗場廻り（扉、三方枠）、仮枠	○					
同上補修	○					
同上補修後の仕上工事	○					
乗場敷居持出コンクリート工事	○					
荷揚用フック取付工事	○					
昇降機中間ビームの取付（鋼構造の場合）						
レール取付用プラケット、プレート共	○					

空調工事関係

工事項目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
壁取付換気扇（取付共）	○					
厨房器具用フード囲い（化粧板含む）	○					



案内図 1/10000

1.工事名称	工事名称	(仮称)如北平和公園墓葬地
	建設地	(地名記番)愛知県大府市桜木町5丁目地内
	主要用途	(住所表記)愛知県大府市桜木町5丁目118
	工事種別	新築(増築)・改築・改修(大規模に修繕)・室内装飾 用途変更(大規模の模様替え)・仮設建設・解体・移設

※知北平和公園内に休憩所など既存建物あり

2.敷地状況	敷地面積	公簿 敷地全体 119,435.25m ² (=36129.16坪)	建坪率 容積率	基準建坪率 60.00% 基準容積率 200.00%
	用途地域	住居専用（第一種低層）・住居・近隣商業・商業・準工業 工業・工業専用（ <u>指定なし</u> ）	容積率 日影制限	道路幅員による容積率： なし 高さ制限 m
	防火地域	防火・準防火（ <u>指定なし</u> ）（ <u>特定行政圏の指定区域</u> ） （ <u>22号地域</u> ）		
	その他の地域地区	都計画区域内外・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業地区・特定街区・改良地区 風致地区（第1種）・高高度地区（第2種）・駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雪地区・災害防止地区・緑地地区・文教地区（第2種） 土地区画整備事業地区（ <u>土地造成事務規制区域</u> ）・国立公園・国定公園・河川敷・その他（駅周辺地区）・砂防区域・ <u>特定都市河川流域</u>		

3.構造・規模	構造	SRC造・RC造・PC造・鉄骨造・軽量鉄骨造・CB造・木造 その他 一部RC造、木造	階数 地上1階
	構造形式	ラーメン・壁式・立体トラス・シェル・折半・在来工法 工業・工業専用・指定なし	最高高さ 3.952M
	基礎	地盤支持(地下・布・独立) その他 (マットスラブ) 杭支持 (PC杭・RC杭・ペノト・アースドリル・深総・その他)	最高軒高 3.952M
	建築面積	既存建物 583.25m ² 増築 213.88m ²	既存建物+増築 797.13m ²
	延床面積	既存建物 546.39m ² 増築 178.24m ²	既存建物+増築 724.63m ²

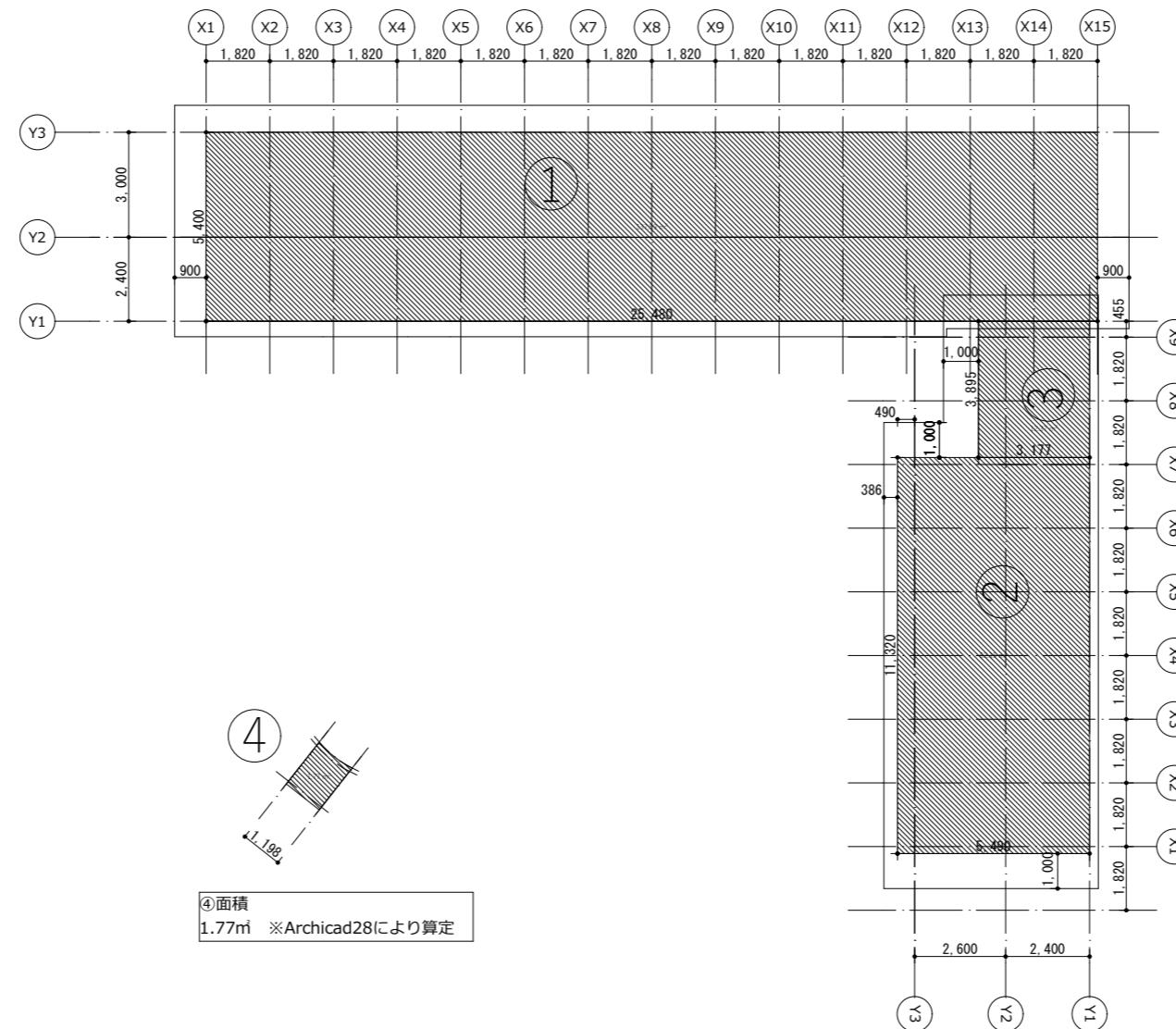
種別	工事用 工具・資材		備考	種別	工事用 工具・資材		備考	種別	工事用 工具・資材		備考
	完成	未完成			完成	未完成			完成	未完成	
敷地造成	敷地造成	○		付属備品	館名板・表札	○		電気工事	受電変		
	整地	—			表札・文字	○			自家発電	—	
	擁壁	○			黒板・掲示板	—			蓄電池	—	
	排水	○			郵便受	—			動力	—	
	道路	—			定礎板	—			電工工具セット	○	
	橋梁	—			サイン	○			照明器具	○	
	護岸	—							電話機器	—	
	防潮設備	—							電話配線	—	
									インターホン	—	
撤去工事	在來基礎撤去	—		備品	可動家具	—		撤去工事	電気測定計	—	
	埋設物撤去	○			固定椅子	○			テレビ用接続器	—	
	工作物撤去	○			什器備品	○			放送	—	
					カーテン	—			火災警報器	—	
					ロールスクリーン	—			セキュリティ	—	
移設工事	在來建物移設	—		物販・マット	敷物・マット	—		給排水 衛生 ガス	給水	○	
	工作物移設	—			装飾物	○			給湯	—	
	樹木移設	—							衛生器具	○	
									防災 (消火栓等)	—	
解体工事	解体工事	—		補償					ガス	—	
外構	植樹造園	○		補償	日影影響	—		冷暖房	給水処理装置	—	
	舗装	○			雪氷障害	—			排水処理装置	—	
	路面駐車場	—			騒音	—			排水通気	○	
	門・扉	—			周害	—			汚水槽	—	
	盛り土	○			近隣工作物	—			暖房	○	
	テラス	—			障害補償	—			冷房	○	
	バーゴラ	—			枯木	○			防災 (排煙)	—	
	外灯	—									
	境界手帳	—									
	看板	—									
	広告塔	—									
	広告板	—									
	ネオン	—									
	遊戯施設	—									
	ゴンドラ	—									
	物干し	—									
	鹿芥焼却炉	—									
	独立煙突	—									
	避難器具	—									
	物置	—									
	浄化槽	—									

5.床面積 (今回増築部分のみ)	容積対象面積		対象外面積	延床面積	
	棟1	坪			
棟2	坪	39.04	0.00	39.04	
	坪	49.18	0.00	49.18	
棟3	坪	14.88	0.00	14.88	
	坪	0.00	0.00	0.00	
	坪	0.00	0.00	0.00	
	坪				
TOTAL	坪	178.24	0.00	178.24	
	坪	53.92	0.00	53.92	



付近見取図 1/5000





□建築面積求積図 S=1/200

個別収蔵施設
建築面積求積表

NO.	L	H	倍率	三角形面積(m ²)	矩形面積(m ²)	面積(m ²)
1	25.4800	5.4000	1.000		137.59	137.59
					小計	137.59
					建築面積	137.59 ^①

合同埋蔵施設
建築面積求積表

NO.	L	H	倍率	三角形面積(m ²)	面積(m ²)	面積(m ²)
4					図を参照	1.77
					小計	1.77
					建築面積	1.77 ^③

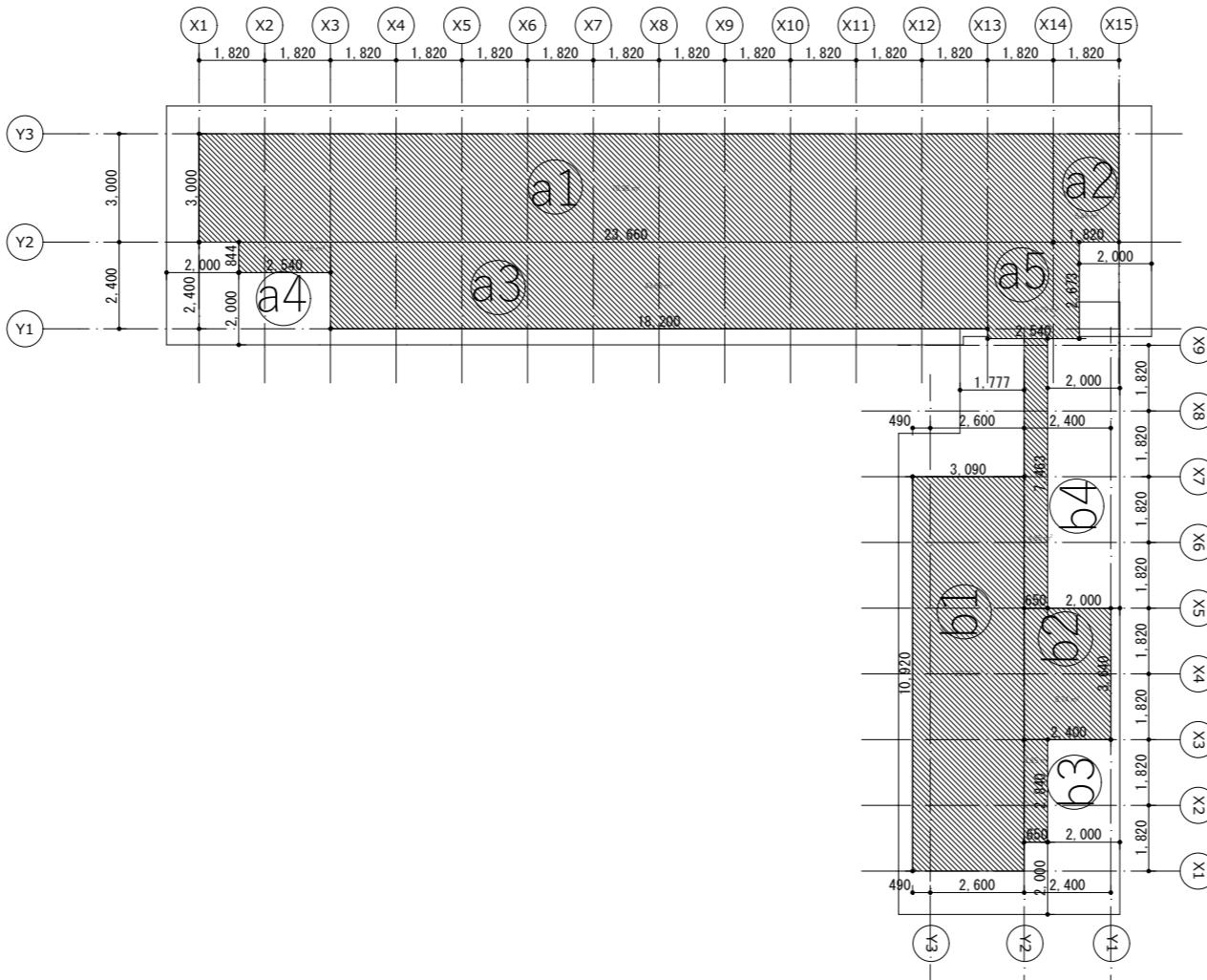
参拝所
建築面積求積表

NO.	L	H	倍率	三角形面積(m ²)	矩形面積(m ²)	面積(m ²)
2	11.320	5.490	1.000		62.15	62.15
3	3.895	3.177	1.000		12.37	12.37
					小計	74.52
					建築面積	74.52 ^②

□面積表

	与式番号	面積(m ²)
個別収蔵施設	①	137.59
参拝所	②	74.52
合同埋蔵施設	③	1.77
建築面積	④	213.88
既存建物建築	⑤	583.25

④+⑤=797.13m²



アプローチ部分も軒先から2m以上は延床面積算入

法廷床面積 129.06m^2 - 容積対象床面積不算入 0m^2 = 容積対象床面積 129.06m^2

アプローチ部分も軒先から2m以上は延床面積算入

法廷床面積 49.18m^2 - 容積対象床面積不算入 0m^2 = 容積対象床面積 49.18m^2

□面積表

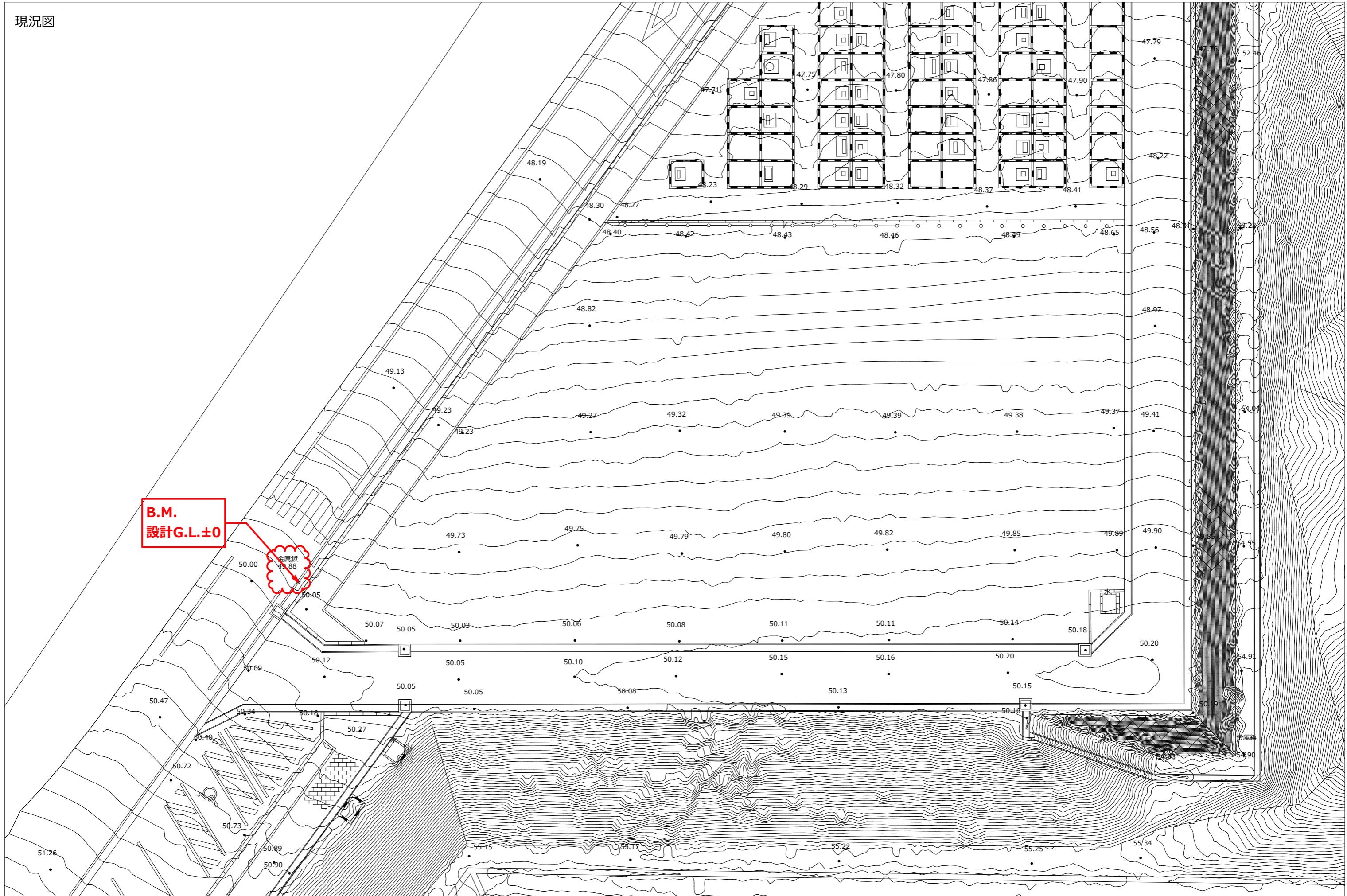
	与式番号	面積(m ²)
棟1	①	129.06
棟2	②	49.18
棟3	③	0
延床面積	④	178.24

使用建蔽率及び容積

敷地面積	119,435.25m ²
使用建蔽率	$797.13/119,435.25 \times 100 = 0.667$ 0.67 % < 60%
使用容積率	$724.63/119,435.25 \times 100 = 0.607$ 0.61% < 200%

既存建物延床

現況図



□内部仕上表							
室名	床下地	床仕上	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	備考
屋内参拝所	RC	コンクリート+金鑛押え防塵塗装	RC,木下地	RC:ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤,透明着色撥水剤,木下地:杉板+屋内用木材保護塗料	木下地	オイル塗装	-
個別納骨室	RC	コンクリート+金鑛押え防塵塗装	RC,木下地	RC:透明着色撥水剤; 木下地:PB(t=12.5)+内装薄塗装	木下地	オイル塗装	-
納骨準備室	RC	コンクリート+金鑛押え防塵塗装	RC,木下地	RC:透明着色撥水剤; 木下地:PB(t=12.5)+内装薄塗装	木下地	オイル塗装	-
合同埋蔵施設	RC	石(あられこぼし), 植栽 (外構工事)	RC	ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤,透明着色撥水剤	RC	透明着色撥水剤	-

内装仕上げの壁・床・天井・建具仕上に用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用すること。

天井裏、床裏、外壁、間仕切り壁、収納に用いる建築材料はすべて 第3種等級、またはF☆☆☆☆の材料を使用すること。

室内以外の床仕上げは外構工事とする

個別収蔵施設棟	
部位	仕上
屋根	構造用合板(木曽ヒノキ合板) t=20+断熱材(t=80)ネオマフォーム同等品+通気垂木(105*45)+構造用合板(t=24) +アスファルトルーフィング+ガルバリウム鋼板(t=0.4)
軒裏	杉板(t=20)+屋外用木材保護塗料
外壁	屋外側(木造部分)：構造用合板(t=12)+透湿防水シート+通気胴縁(t=15)+杉板(t=12)+屋内用木材保護塗料 ----- 屋内側(木造部分)：PB(t=12)+内装材薄塗材 ----- 屋外側(RC部分)：ビシャン仕上げ+透明白色撥水剤,透明白色撥水剤 ----- 屋内側(RC部分)：透明白色撥水剤
基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎/立ち上がり：透明白色撥水材
開口部	木製建具

付属物・雨桶 换気口

参考所欄	
部位	仕上
屋根	構造用合板(木曽ヒノキ合板) t=20+断熱材(t=80)ネオマフォーム同等品+通気垂木(105*45)+構造用合板(t=24) +アスファルトルーフィング+ガルバリウム鋼板(t=0.4)
軒裏	スチールプレート+高濃度亜鉛末塗料(ローバーレマットカバー同等品)
外壁	屋外側(木造部分) : 構造用合板(t=12)+透湿防水シート+通気胴縁(t=15)+杉板(t=12)+屋外用木材保護塗料 屋内側(木造部分) : 杉板 + 屋内用木材保護塗料 屋外側(RC部分) : ビシャン仕上げ+透明白色撥水剤,透明白色撥水剤 屋内側(RC部分) : ビシャン仕上げ+透明白色撥水剤,透明白色撥水剤
基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎/立ち上がり : 透明白色撥水材
開口部	アルミ製建具、木製建具

付属物：雨桶、換気口

合同埋蔵施設	
部位	仕上
外壁	屋外側(RC部分) : ビシャン仕上げ + 透明着色撥水剤, 透明着色撥水剤 屋内側(RC部分) : 透明着色撥水剤
基礎	鉄筋コンクリート造ヘタ基礎/立ち上がり : ビシャン仕上げ + 透明着色撥水材 埋設部分 : コンクリート打放し
開口部	建具なし

■耐火・準耐火リスト

防火構造制限：法22条地域(延焼のおそれのある部分なし)

部位	構造または使用材料	備考	
屋根	ガルバリウム鋼板	不燃材料	建告1400号

• 個別收藏施設

• 参挂所

